

三二広報紙

平成 28 年 12 月 25 日

〒 514-0004

三重県津市栄町 2 丁目 325 番地

(一社) 三重県鍼灸マッサージ師会
広報部

電話: 059-246-7427

E:mail : sanryu@opal.plala.or.jp



ご挨拶
代表理事 島谷 宏

あっという間の 1 年間

昨年の総会後に、前会長の伊藤由尋先生より会長と云う職を引き継ぐ事に成りました。全く前会長とは比較に成る部分は有りませんが、何とか年月が立ち、早いもので 1 年があっという間に過ぎてしまいました、この 1 年は毎年の 1/3 のスピードで過ぎ去って行きました。

会員の皆様、それに、理事の協力を甘えて、1 年間の事業にも計画通り実施する事が出来た事、皆様にお礼申し上げます。

無資格者問題、保健施術問題、等難問を抱えておりますが、今年度からは、年々厳しくなってきた、あ、は、き 業界を初心に帰って基礎を大切に、年間事業の中に、各地域の住民の方々に三重県師会の会員の 1 人でも多くの人々の顔を知って載きたい、その地区に溶け込んでもらいたい、1 人 1 人に知ってもらいたい、ここに鍼灸マッサージ師がいる、居て、こんな活動をしている、活動により、たくさんの地域の人たちに信頼と顔を覚えてもらう。その事が自分たちの仕事に結びつくと思います。

ですから、地域の人に喜んでもらって、仲間になり、溶け込んで、なんでも話せるような地域の、あ、は、き師になり前向きに進んでいきたいと思います。

三重県師会の皆様と一致団結をして厳しい業界の荒波を乗り越えて行く為にこれからも努力をして参りますのでご協力をお願い致します。

前 代表理事 伊藤 由尋 春の園遊会に招かれて

平成 3 年に森谷三次氏より会長を受け継ぎ、現会長の島谷氏に引き継ぐ迄、佐藤章男氏一期、勢力慶太郎氏一期ずつ務める間、会員の皆様には大変ご厄介をおかけしたにもかかわらず、御厚情ご協力をいただき本当に有難うございました。

今回は、私の最大の思い出となっております、平成 13 年 11 月勲五等瑞宝章を受章し、15 年 4 月春の園遊会に招待され、ハイヤーで赤坂御苑に着くと。運転手は園遊会が終わる

まで駐車場で缶詰め。

招待状を受付に出すと、他の多くの人達は会場の方へ行かれるのに「しばらくお待ち下さい」とのこと。暫くすると若い女性が出てきて「案内させていただきますのでどうぞ」とのこと、一緒に歩き出すと「マイクを襟に付けさせていただきますので、宜しく」とのこと。

5分ほど歩いて会場の中心部に着くと、道の左側には大きな池が2つ、右側には緩やかに小高くなり芝生が敷き詰められている道路沿いに、水色と白い布で縄の様な太い紐で仕切られた場所の前で、別の女性に引き継がれ、「あと40分程しましたら必ずここへ来て下さい、それまでご自由にどうぞ」との事、そして、「マイクは付けて頂かなくても良くなりましたので」とのこと、気持ちがあぐつと楽になると共に、いささか残念の気持ちも、30分程園内を家内と共に散歩、その間、招待者の方々は飲んだり、食べたり、全く自由。

指定時間に遅れてはならじと、布ヒモ囲いの所へもどり暫く待っていると、係の方がやってきて「伊藤様そこはお席ではありません。どうぞこちらへ」と案内されたのは布ヒモの中、並んでいる人を良く見ると、ノーベル賞受賞の小柴さん、田中さん、拉致事件の内閣官房参与の中山さん、相撲界の大関豊山、そして私共夫婦、他の2組、園遊会の特別席へ招待されたのです、正直言って「びっくり」しました。少し落ち着いたので、まわりを見ると、道を隔てて左前方に2階造りの報道者席、右前の広場には音楽隊が陣とって。

やがて音楽隊による「君が代」演奏、「君が代」が終わると天皇陛下を先頭に歩いてこられ、小柴さん、田中さん、中山さん、そして隣の豊山関と色々な話をされて、いよいよ私の前においでになり、侍従長の紹介にうなずかれ、50センチくらいの所まで近づかれて、「鍼、灸、あん摩の需要は如何ですか？」と尋ねられ、私は「伝統ある施術ですので、多くの人達に利用されています」と答え、いろいろな話もさせて頂き、最後に陛下は「日進月歩の現代医学の進歩に遅れないように会員皆様に指導して下さい」と言われて、次の方の前へ行かれました。

次に皇后さまが前に来られて「京都の盲学校へ行きました時、生徒さんが鍼を試してみえました。それで生徒さんに「鍼をどこに刺しているのですか」と尋ねると「ツボに刺しています」と答えられましたが、「ツボとはなんですか」と聞かれて「ツボは体の調子が悪くなったり、病気になると皮下に現れてくる反応点です」と答えてしまい、後から、もう少し良い答えが無かったのか、と少々悩みました。次いで皇太子様ご夫婦は二人並んで前に来られ「イギリスでも鍼をしている人がいました」と言われ真子様は「ツボって365もあるそうですね」と言われたので、文化大革命後はその倍以上のツボが利用されています」と答えると、紀子様のところへ行って「ツボって倍以上も利用されているんですって」といささか大きな声で言われたのはびっくりしました。

後続の宮様方、天皇陛下の御兄弟とは挨拶くらいでした。後は自由で、待望の飲み物と焼肉をいただき園内をゆっくりと一回りして受付の所へ戻ると「御土産です」と箱入りの御土産をそれぞれ頂き、駐車場で待ちくたびれていたハイヤーを見つけて帰路につきました。私にとって、一生の思い出となる素晴らしい一日でした。

杉山検校顕彰事業

平成28年5月26日 頌徳会主催

はっきりしない天候の下、急遽場所を三重鍼灸会館に移し、大勢の皆様の参加をいただいて実施されました。

頌徳会会長（本会代表理事）の挨拶で島谷宏氏は冒頭より持ち味のユニークなトークを繰り出し、笑いを誘って場を和やかに、そして楽しいものとしてくれました。



お話の中で、杉山検校の威徳を偲ぶと共に、その功績にも触れられ、杉山検校が発案された鍼管は、現在の医療において、多く利用されている、カテーテルの元になっているのだと添えられたお話は大変印象深いものでした。

このことでは来賓の挨拶でも三重県鍼灸師会の岡田副代表が鍼管がカテーテルの元になっているというのは私も始めて聞いたことで大変勉強になりましたと述べておられました。

平成28年度の頌徳会会長表彰受賞者は、四日市地区の堀 光夫様と津地区の高橋 護様のお二人でした。

このたびは、誠におめでとうございます。

組織部長兼保険部長 中川憲一

昨年の役員改選で業務執行理事に就任しました中川です。

組織部と新たに保健部を担当することになりました。至らぬ事ばかりで、先輩の方々に助けていただきながら頑張っています。

どうぞよろしくお願ひします。

学術部長 西脇 克志

27年度より、学術部の担当となり、1年が経ちましたが、昨年より、健康講座の告知を、津市の広報に載せることにより一般参加者が少しだけ増えました。でも、会員の参加がいまいち増えていません。

以前より、総会や、地区長連絡協議会の時に、地区長さんには、健康講座について、各会員さんにどのような講演がいいか、聞いてきてくださいと頼んでいますが、なかなか意見が、上がってきません。

そのため、いつもこちらで講師の先生などを決めて行っています。

これからは、できるだけ皆さんの意見などを聞きたいので、何々先生の講義が聞きたいとか、ただ単に、腰痛、五十肩など症状だけで、もっと詳しい治療法を知りたいとか、言ってもらえば、こちらでできるだけ、その添える先生などを見つけて、講演できるように頑張りますので、皆さんの、御協力よろしくお願ひいたします。

第 64 回中部ブロック研修会議にて

平成 28 年 6 月 12 日～13 日十八楼（岐阜長良川河畔）

伊勢地区 伊藤文恵



私は地域健康づくり指導者として『おたっしゃ筋力アップ教室』を開催して 5 年目を迎えます。今の所は市町村の介護予防事業の「参入」という形ではなく、三重県鍼灸マッサージ師会の主催協力のもと、県民の介護予防と地域貢献、鍼灸マッサージの啓発活動も兼ねて教室を立ち上げました。

まず初めは自分の住んでいる地区で…と思い、同じ市内在住の先生と一緒に伊勢市にて開催しております。

市広報などで教室参加の募集を募り、借りる場所の大きさによって 30 名～70 名で週 1 回、全 10 回の教室からスタートします。年齢は 60 歳以上の元気な方も、筋力低下を感じている方も対象で事前に参加票を郵送して 1 人 1 人の体の状態を把握し怪我や事故のないように管理を行っております。

全 10 回の初めと終わりには体力測定をして毎週続けて体を動かすと、どの位の効果があるのか、体の変化を数字で目でも確認できるようにし「続けていきたいな」と感じて頂くことを一番に楽しい教室をと考えております。

次回の県民健康公開講座

平成 29 年 1 月 22 日（日）は

演題：「笑い与健康♪」

講師：NPO 法人ユーモアコンサルタント研究会会長 矢野 宗宏 先生を
予定しています。是非、会員の皆様にはご参加いただきますよう・・・。

次の広報紙は、各地区行事などの掲載を予定しています。身近な広報紙として発行していきますのでご協力願います。